



2023年早春号
名古屋から
鳥取へ

早春の鳥取に行く 開運ドライブ

鳥取県は、県内を無料で通行できる高速道路が充実し、県東部なら名古屋からは約4時間でアクセスできます。今回は車で巡りたい東部のスポットを、運氣アップが期待できる場所というテーマのもとに紹介。白兔(はくと)伝説ゆかりの神社から鳥取砂丘までを行く、開運ドライブのスタートです。

企画・制作/中日新聞広告局



1.白兔神社。2.ぎんりん亭の「うさぎの三段跳び井」(1900円)。3.鳥取砂丘。4.白兔神社の「白うさぎみくじ」と「結び石」(共に500円)。5.「かるいち」若林商店の近藤さん。6.タカハマカフェの外観

うさぎ年にふさわしい場所から

淡岐之島(おきのしま)に住む1匹の白ウサギが、因幡の国へ行くためにサメたちを欺き、その背に乗って渡るも、だまされたことを知ったサメに体中の毛をむしり取られてしまい、さらに八十神(やそがみ)の意地悪な教えで海水を浴び、痛みはひどくなるばかり。泣いていたところを大国主命(おおくにのみこと)に救われま。喜んだウサギは、大国主命は八上姫(やがみひめ)をめると予言、見事2人は結ばれました。

古事記に記されている、この「因幡の白うさぎ」の神話。舞台となった鳥取県東部の白兔海岸を見下ろすように建ち、神話にちなんで縁結びにご利益のある白兔神社が、最初の目的地です。訪れた日は小雨交じりの空模様ながら、今年はうさぎ年ということもあり多くの人が。「良いご縁がありませうようお願いしました」とは、鳥取在住の田中綾子さん流音さん親子です。参拝を済ませ、ウサギの石像が鎮座する灯籠(とうろう)が

並んだ参道を下りるときは、眼下の海が神話の舞台だったことを意識してみましょう。ウサギの心象に寄り添えば、ご利益が増すかもしれません。

白兔神社を訪れたら、道の駅「神話の里 白うさぎ」のぎんりん亭で食事を取るのが王道です。福市勉駅長が「ウチの看板メニュー」と話すのは、その名も「うさぎの三段跳び井」。白イカは波、イクラはウサギの傷を癒やしたガマの油、イカの沖漬けはサメの背を表現した、見た目も楽しい逸品です。

白兔海岸沿いの国道を東へ進み、次は文武上達のご利益がある賀露(かろ)神社へ向かいます。ここは、こま犬がトラという珍しい神社で、そのご利益から中高生に人気とか。また、鳥取港海鮮市場「かろいち」が近いのも見逃せません。場内の鮮魚店の一つ、若林商店の近藤久代さんいわく、「3月までは何といっても松葉がに。赤カレイやハタハタもお勧めです」。土産はやはり、鳥取自慢の魚介にしましょうか。

ゴールは鳥取砂丘。鳥取観光に欠かせない景勝地は、パワースポットとしても知られています。起伏に富んだ砂地を歩き、目指すのは「馬の背」と呼ばれる高さ約50mの砂丘列です。見上げれば、砂の壁が空を押し上げ、その頂上から望む海はますます青い。10万年もの間、海に流れ出た砂が波に押し返される自然の営みを繰り返してきたこの場所、運氣アップを期待しましょう。帰路につく前に、建築家・隈研吾氏のデザインによる新しい観光名所「タカハマカフェ」で、ティータイムを過ごすのも忘れなく。

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で 鳥取の味覚が楽しめるディナーイベント

和牛やジビエ、日本海の幸など、鳥取の豊かな自然環境で育まれた旬の食材を、シェフが一夜限りの特別メニューに仕立てます。

「旨さ全開! 鳥取グルメナイト」

日時: 3月11日(土) 18時~20時30分
会場: ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(中区金山町1) 7F大宴会場「ザ・グランコート」
料金: 6,000円(ブッフェ料理・ソフトドリンク・税サ込)
※鳥取産の銘酒もそろうフリードリンク付きは追加2,000円



<2日前までに要予約>
予約・問い合わせ/宴会イベント係
TEL052-683-4445 (10時~18時)

ふるさと鳥取県産業・観光センター

名古屋市中区栄4・16・36 久屋中日ビル5階

お問い合わせ TEL:052-262-5411 鳥取県の観光情報は
こちらから FAX:052-262-5415

https://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/

